

今後のリユース促進に向けて

(1) 平成 24 年度の取組み概要

リユース促進に向けて必要なデータ・指標の検討・整理

- 第 3 次循環型社会推進基本計画での検討状況を踏まえ、製品等のリユースを促進するために必要なデータ・指標について検討を行った。

市町村とリユース事業者との連携によるモデル事業として 3 地域で実施

(愛知県大府市)

- 小型家電を対象に宅配便を使って回収、リユース・リサイクルする実証事業を実施。
- 平成 24 年 12 月～平成 25 年 2 月末までに、申込件数が 862 件(3,189 点、約 17 t)、うちリユースでの引取りは 4 件であった。

(大阪府泉大津市)

- 市民同士でのリユース促進のため同市が設置する「不用品あっせん掲示板『こちら、ゆずります！』」をリニューアル、また「Yahoo! バザール」の利用を促した。
- 平成 24 年 12 月 10 日～平成 25 年 2 月末までに、不用品あっせん掲示板で 33 件の出品があり、そのうち 20 件が交渉成立した。

(東京都町田市)

- 月に 1 回「リユースの日」を設定し、市民からのリユース品の引き取り、リユース可能なものをリユース業者に販売・引き渡す。
- 平成 24 年 12 月～2 月まで毎月 2 日間の計 6 日間で、576 件、7,548kg の製品を引き取った。うち 9,751 点、4,615kg の製品をリユース事業者に引き渡した。

市場規模、流通実態調査を実施

- 消費者アンケートをもとに、最終需要ベースでの市場規模を推計したところ、3 兆 1 千億円、自動車、バイクを除くと 1 兆 2 千億円と推計された(いずれも未使用品・新古品を含む)。

平成 23 年度のリユースモデル事業のフォローアップ調査

- 平成 23 年度にモデル事業として実施した 6 地域について、その後のリユースの取組状況を調査・把握した。

(2) 今後のリユース促進に向けた取組み予定 (アイディア)

- ・以下に示す今後の取組み (アイディア) について、追加のアイディアや平成 25 年度に実施すべきことについてご意見いただきたく。

「使用済製品等のリユース促進事業研究会」の開催

< 検討議題 (案) >

- リユース業界団体との意見交換の継続実施
- 地方自治体におけるリユースの取組み状況の調査 (アンケート調査など)
- 衣類などの海外リユースの状況についての実態調査
- 未来のリユース促進法に向けて自由な幅広い議論
- リユース業が遵守すべきガイドラインや基準の検討
- リユース業界を取り巻く法的環境の課題の整理

市町村とリユース事業者の連携によるモデル事業の拡大・事例集の作成

- ・平成 23 年度、平成 24 年度のリユースモデル事業の成果を踏まえて、引き続き地方自治体から公募・提案を募り、新たな取組みを実証。
- ・また、各地域で実践されている「地方自治体におけるリユース取組事例集 (仮称)」を作成、モデル事業の成果とあわせてリユースの取組み拡大を図る。

リユース促進に向けた情報発信・普及啓発の実施

- ・モデル事業実施地域をはじめとする地方自治体、リユース業界団体などとの連携による、リユース促進に向けた情報発信や普及啓発を実施。
- ・例えば、「地方自治体におけるリユース取組事例集 (仮称)」の作成、リユース事業者のビジネスモデルを紹介するセミナー開催、「リユースの日」でのイベント開催など。

更なるリユース促進に向けた基礎調査

リユース促進に向けた指標調査

第 8 回、第 9 回研究会で検討いただいた指標案、「リユースに関する意識・行動の推移・変化」、「品目別、流通経路別のリユース市場規模」、「地方自治体におけるリユースの取組」、「その他、リユース促進に関連するデータ・数値」などを調査。

海外のリユース事業・促進施策等に関する調査

国内から輸出されるリユース品の海外での活用状況 (例えば、衣類など)。海外におけるリユース促進に向けた制度などを調査。

リユース事業者における優良化に向けた取組み実態調査

各リユース業界団体の協力を得て、加盟企業において、各団体が進めている優良化に向けた取組みがどの程度浸透し、実践されているかの実態調査。

(以上)